

## 公民(消費者の権利)

現代社会では、消費者が自分の意思と判断によって商品を購入すること(① \_\_\_\_\_)は難しくなっており、商品の購入などをめぐる問題(② \_\_\_\_\_ 問題)も増えている。そして、問題が深刻化すると、消費者は団体を結成して消費者運動をするようになった。その根底には、1962年にアメリカの③ \_\_\_\_\_ 大統領がかかげた4つの権利(④ \_\_\_\_\_ 権利、⑤ \_\_\_\_\_ 権利、⑥ \_\_\_\_\_ 権利、⑦ \_\_\_\_\_ 権利)がある。

日本でも、欠陥商品によって消費者が被害を受けた際の企業の責任について定めた⑧ \_\_\_\_\_ 法( \_\_\_\_\_ 法)や、消費者の権利を明確化するとともに、企業と行政の責任を定めた⑨ \_\_\_\_\_ 法などの法律が制定された。

しかし忘れてはいけないのは、消費者は権利とともに責任を負っていること。なので、消費者自身で商品に関する知識や情報を広く収集して、判断力を備えた⑩ \_\_\_\_\_ になることを心がけなければならない。